



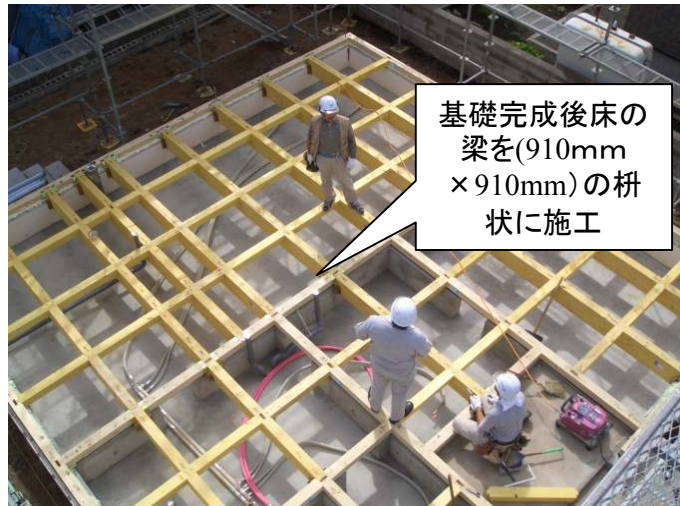
検査のJIOによる配金検査



幅150mmの丈夫な基礎



城東テクノ社製基礎パッキンロング施工これで土台の腐食無し換気効率通常レジスターの約1.8倍の換気効率



基礎完成後床の梁を(910mm×910mm)の柵状に施工



床にウレタンボード85mmを施工これで床も高断熱



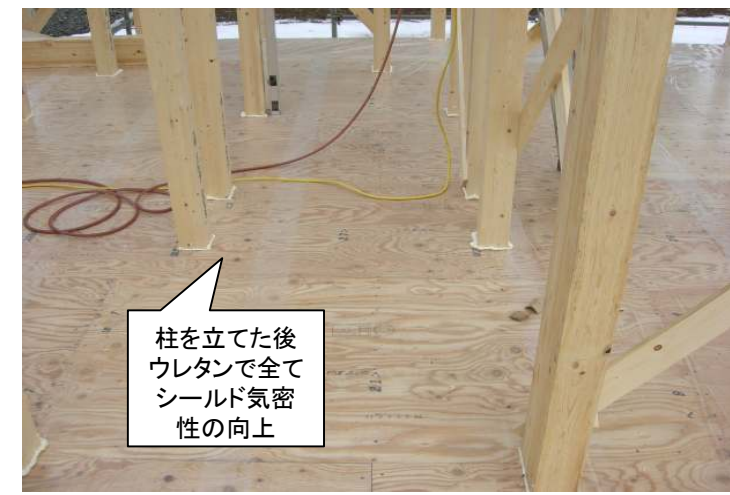
24mm厚の丈夫な合板で柱を立てる前に床を施工、気密性が飛躍的に向上



1階天井に防振吊木使用これにより2階の振動音を大幅に軽減



屋根材は丈夫なガルバリウム鋼板



柱を立てた後ウレタンで全てシールド気密性の向上



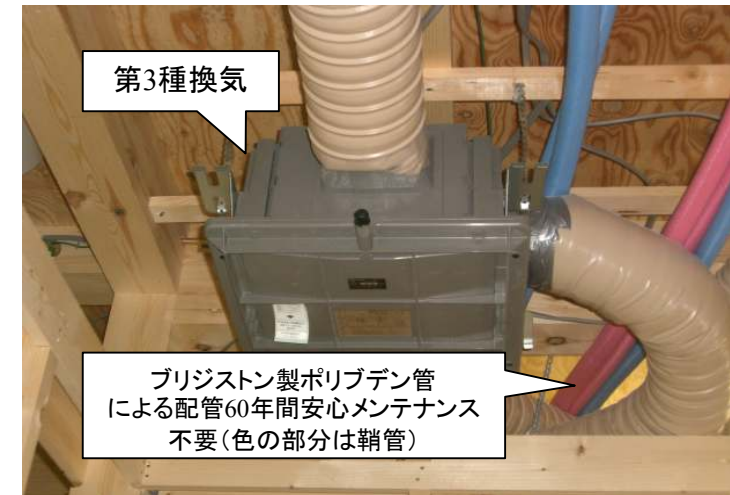
2010年バージョンは壁内部ウレタン85mm仕様更に高断熱化UP



ウレタンの厚みのチェック



外部50mm押出ビーズ法断熱材施工



第3種換気

ブリジストン製ポリプロピレン管による配管60年間安心メンテナンス不要(色の部分は鞘管)